

■志賀重昂 思想家, 評論家, 旅行家。日本の領土確保に心をくだき、「日本風景論」は大きな影響, 殆ど全大陸を旅行。

しがしげたか

8月18日政変 1863= 三河国岡崎で、藩儒志賀重職の長男に生まれる。

明治維新・・1868= 5歳：父が死去、以後、母淑子の実家(松下家)で育つ。

学問のすすめ1872= 9歳：

明治6年政変 1873=10歳：

佐賀の乱・・1874=11歳：攻玉社に入り、

英学・数学・漢学を修め、

大久保暗殺・1878=15歳：退学。しばらく江木高遠に学んだのち、東京大学予備門に入学。

・・・・・1880=17歳：北海道に渡り、札幌農学校に転じる。3年上に内村鑑三がいた。

明治14年政変1881=18歳：

北海道の山野や青森県各地を歩き回り、政治への関心を深めて、

秩父事件・・1884=21歳：卒業。長野県で中学校教諭や師範学校講師を務めるが、酒席での県令木梨精一郎とのトラブルで、

内閣発足・・1885=22歳：辞職。上京して丸善に勤めるうち、_イギリスが朝鮮の巨文島を占領したのに激して、海軍兵学校の練習艦{筑波}に便乗して、ひそかに状況をさぐる。

帝国大学始・1886=23歳：_ダーウィンをまねて、再び{筑波}に便乗し、南洋諸島、オーストラリア、ハワイを歴訪。

国民之友始・1887=24歳：*帰国後「南洋時事」を一息に書き上げて出版、列強の植民地化競争の状況を報じて警鐘を鳴らすとともに、東京地学協会の終身名誉会員に推される。ポナフィジン島置き去り事件が起こると{東京横浜毎日新聞}で痛論、世論を湧かし政府を動かすとともに、御用船芳野丸に同乗して、同胞11人を救助、これによって同島は鳥島として後に東京府に入る。

初の対等条約1888=25歳：杉浦重剛の東京英語学校で地理学を教えた後、札幌農学校同期の親友や_三宅雪嶺らと政教社を結成、雑誌{日本人}を創刊して、国粹保存主義を標榜。

帝国憲法発布1889=26歳：大隈重信の条約改正案の不備を非難する論陣を張り、反対運動の{日本倶楽部}を結成。

帝国議会始・1890=27歳：村山竜平発行の{国会新聞}に名誉客員として招かれる。

日清戦争始・1894=31歳：結婚。*日清戦争勃発に、120余の新聞雑誌同盟の代表として自主外交主義を唱える一方、「日本風景論」を刊行、同じ年に出た内村鑑三の「地理学考」とともに、明治の二大地理書としてロングセラーとなり、W. ウェストンの「日本アルプスの登山と探検」とともに、日本の近代登山に大きな影響を与え、日本山岳会創立の一つの契機にもなった。

日清戦争終・1895=32歳：東京専門学校講師となって、地理学を講じながら、政界、言論界のいわゆる硬六派の幹事としても活躍。

八幡製鉄始・1897=34歳：硬六派の所産進歩党の松方内閣成るや農商務省山林局長に抜擢されるが、政策を痛論して懲戒免官。

子規句歌革新1898=35歳：第1次大隈内閣にも起用され外務参事官となるが、内閣瓦解とともに下野。_南鳥島の日本帰属に尽力。

Bushidou・・1899=36歳：憲政本党から派遣され_鉄道敷設踏査のため中国に渡る(のちに対支21ヶ条要求の路線となる)。

ビア/国産化・1900=37歳：立憲政友会へ移り、党報を編集。

教科書疑獄・1902=39歳：_南鳥島に渡り、米国の抗議をしりぞける。帰国後、衆議院議員に当選するが、

日露戦争始・1904=41歳：_落選、以後、政治から離れ、地理学に専念。日露戦争を観戦し、「大役小志」「旅順攻囲軍」を刊行。

日露戦争終・1905=42歳：東京地学協会主幹・大日本水産会幹事の資格で、_日露国境線画定作業のため樺太(サハリン)に渡り、

アラク 創刊・1908=45歳：_アレクサンドロフスク・サハリンスキーで開かれた日露委員会に出席。

韓国併合・・1910=47歳：_巡洋艦{生駒}に便乗して世界漫遊、アフリカ大陸を横断、ブラジル地学協会名誉会員となって、帰国。

大逆事件判決1911=48歳：早稲田大学教授り、没するまで在職。_ウェストンに次いで日本山岳会名誉会員に推された。

明治天皇没・1912=49歳：「世界山水図説」を刊行。_カリフォルニア州とハワイ諸島へ、

大正政変・・1913=50歳：木曾川下りを日本ラインと命名、

第一次大戦始1914=51歳：_万国アメリカ会議に出席、アメリカ南北大陸を巡歴して、

21ヶ条要求・1915=52歳：_帰国。満州・蒙古に講演旅行。

ロシア革命・1917=54歳：*イギリス王立地学協会より名誉会員に推される。

原敬首相暗殺1921=58歳：

水平社結成・1922=59歳：_南部アフリカ・南アメリカを巡回、

関東大震災・1923=60歳：_インド・中近東・ヨーロッパ・北米を巡って、帰国。中東の石油事情とアラブ・イスラエル問題に注目。

また、この年、恵那峡の命名もしている。

_足跡はほとんど全大陸に及び、比類のない大旅行家であったが、

円本時代始・1926=63歳：「知られざる国々」出版し、

金融恐慌・・1927=64歳

関節炎手術後に_没した。地理に関する教科書や図説の類も、生涯を通じて、多数出版している。